



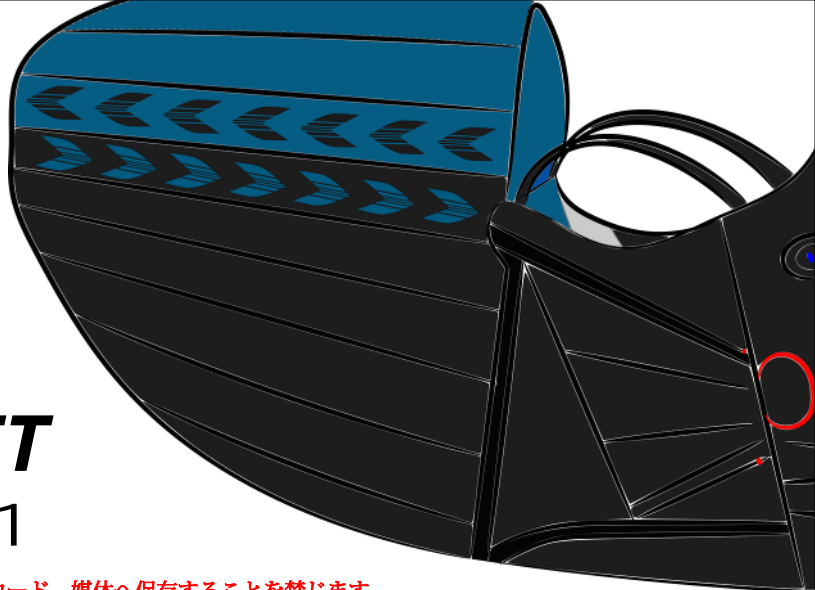
**KORTEL  
DESIGN**

**KANIBAL RACE II**

**&**

**KANIBAL RACE II ST**

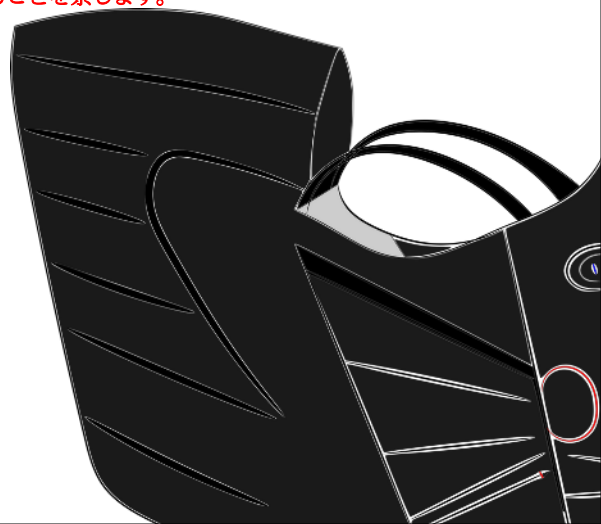
**使用説明書 日本語V2.01**



**警告！**いかなる目的のためにも本マニュアルを複製、送信、流布、ダウンロード、媒体へ保存することを禁じます。



有限会社エアハート コーポレーション  
〒125-0035東京都葛飾区南水元2-26-11  
Bell Wood bldg.101号室  
TEL:090-4735-6585  
WEB:[https:// www.airheart.jp](https://www.airheart.jp)  
E-mail:[inf\\_o@airheart.jp](mailto:inf_o@airheart.jp)



# Table des Matières

# KanibalRace II & ST

はじめに	3	注意事項	29
使用上の注意	4	ギャランティー（保証）	30
プレゼンテーション	5	テクニカルデータ	31
デスクリプション		サイズガイド情報	32
全体像		その他の情報	33
ハーネスを準備する	9		
最初のセッティング			
アクセサリ			
レスキューパラシュートの装着について			
背面プロテクター			
離陸のための準備	21		
チェックリスト			
ハーネス内の接続			
安全に飛ぶために	23		
テイクオフについて			
フライト中			
アクセラレータの使用について			
レスキューパラシュートの使用方法			
使用上の制限事項	26		
メンテナンス・サービス・修理	27		



**A Lire ...**



**Attention**



**DANGER !!!**

## はじめに

この度は、KORTEL DESIGNハーネスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます！

1999年以来、私たちは細部にまで目を配り、あらゆる製品を設計・開発し、世界中で高い評価を得ています。

快適性、効率性、革新性、そして品質は、製品の設計から納品に至るまで、私たちの創業基準です。

KORTEL DESIGNは、まず第一に、あなたの声に耳を傾け、ますます革新的であなたの練習に適応する高品質の製品を提供するために団結した愛好家のチームです。幸せなパラグライダーのためにデザインされた、高度な技術を要する製品です！



このマニュアルは、お使いの製品に不可欠なものです。よくお読みいただくことをお勧めします。初飛行の前にハーネスを準備するために必要なすべての情報、および安全性、お手入れ、メンテナンスに関するその他の多くの重要な情報が記載されています。

KORTEL DESIGNは、お客様に最適なサービスを提供するために、訓練を受けた販売店のネットワークに依存しています。

ウェブサイトでは、販売店の全リストのほか、製品に合わせた詳細な情報を記載した追加写真や説明用フィルムが掲載されています。



本書および本ウェブサイトで得られる情報は、販売店やモニターのアドバイスに代わるものではありません

## 使用上の注意



### パラグライダーの注意事項

パラグライダーの練習には、事前のトレーニング、特定のトレーニング、そして機材に関する最低限の知識が必要です。各パイロットは責任を持ち、有効な規制（ライセンス/保険）に従わなければなりません。

パイロットは、天候を正しく判断できなければなりません。さらに、パイロットの飛行レベルは、使用する機材の要件に対応していなければなりません。また、パイロットは、自然環境や景観を含む自分の環境に注意を払う責任があります。

私たちは自然環境の中におり、動植物に最大限の敬意を払うことが必要です！

マークされたコース以外を歩かず、ゴミを放置せず、不必要な騒音を立てず、特に離陸時には、私たちの山の生態系における繊細な生物バランスを尊重しましょう！敏感な場所や保護区域を尊重しましょう。

喫煙者は、タバコの吸殻を持ち帰り、機材の近くでタバコを吸わないでください。

適切なヘルメット、適切な履物や衣服の着用、予備パラシュートの携帯は必須です。各フライトの前に、すべてのパイロットは、すべての飛行器具に損傷がないか確認し、離陸できることを確認する必要があります。

さらに、各フライトの前には、飛行前の完全なチェックを実施する必要があります。

各パイロットは、自分のパラグライダーについて全責任を負い、怪我や死亡を含むすべての固有のリスクを受け入れるものとします。メーカーや販売店はパイロットの安全性を保証することはできません。したがって、発生しうるいかなる問題に対しても責任を負うことはできません。

### パラグライダー用ハーネスに関する具体的な注意事項：

このハーネスと関連アクセサリーのデザインは、パラグライダーのために、そしてパラグライダーだけのために開発されました。

デザインは全体として、このスポーツとその使用に適合した素材と付属品を定義しています（規則、基準）。このハーネスのホモロゲーションは、パラグライディングというスポーツにのみ適用されます。

誤用は使用者の自己責任であり、製造者はいかなる事故に対しても責任を負いません。

パラグライダー用ハーネスの選択は、想定される練習の種類（コンペティション、アクロ、マウンテンなど）およびパイロットの経験レベルに合わせて行う必要があります。不適当なハーネスを使用すると、事故や怪我の原因となることがあります。

ハーネスの調整は、最初のフライトの前に、シミュレーターで少なくとも一度は行わなければなりません。これらの調整は、快適性だけでなく、ハーネスとグライダーの飛行挙動に直接影響を与えます。誤った、あるいは不適切な調整は、事故や怪我につながる可能性があります。

パラグライダーハーネスに装着されているバックプロテクター（フォームバッグ、エアバッグ、ハイブリッド）は、低強度の衝撃（離陸や着陸の失敗、低落下）の際にパイロットの身体に伝わる衝撃波を制限します。どのプロテクターも、怪我、特に脊椎の損傷に対して完全な保護を提供することはできません。プロテクターで覆われた身体の一部のみが衝撃から保護されます。改造や誤用は、バックプロテクターの性能を危険なほど低下させる可能性があります。激しい衝撃を受けた場合は、デバイスの完全性を確認し、疑問があれば遠慮なくメーカーに連絡してください。

## プレゼンテーション

カニバルレースとカニバルレースSTは、あることを念頭に置いて設計されています：

### 「パフォーマンス」

ハーネスが生み出す空気抵抗を最適化することで、純粋なパフォーマンスを実現します。

優れた快適性によるパイロットの省エネによって誘発されるパフォーマンス。

大型コックピットにより、計器類から得られるすべての飛行データを最適化することができ、戦略的なパフォーマンスを発揮します。

機体の動的挙動を最適化する独自のダイナミック・スタビライゼーション・システムによる飛行性能。

競技や大規模なクロスカントリーフライトで性能を求める方に最適なハーネスです。



バックポケットには、様々な認証試験（EN / LTF / CE）への適合を示すラベルがあります。ない場合は、ハーネスを使用せず、できるだけ早く弊社にご連絡ください



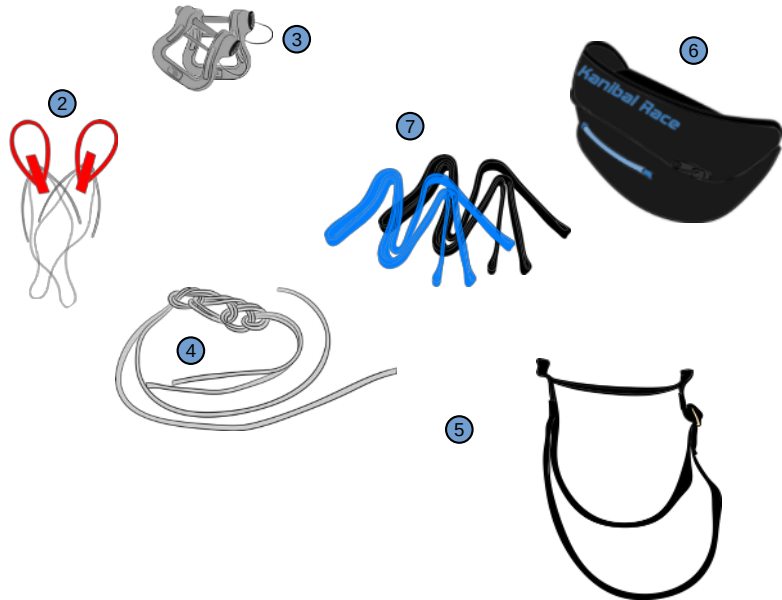
# プレゼンテーション

## 商品説明

ハーネスが届いたら、部品の欠品がないことを販売店に確認してください。

### 構成品 KANIBAL RACE II & ST

- 1 スポットライト
- 2 ピンロック式カラビナ
- 1 3バーアクセラレーター
- 2 ダイニーマコード
- 1 コックピット
- 2 ペアエマージェンシーリフト

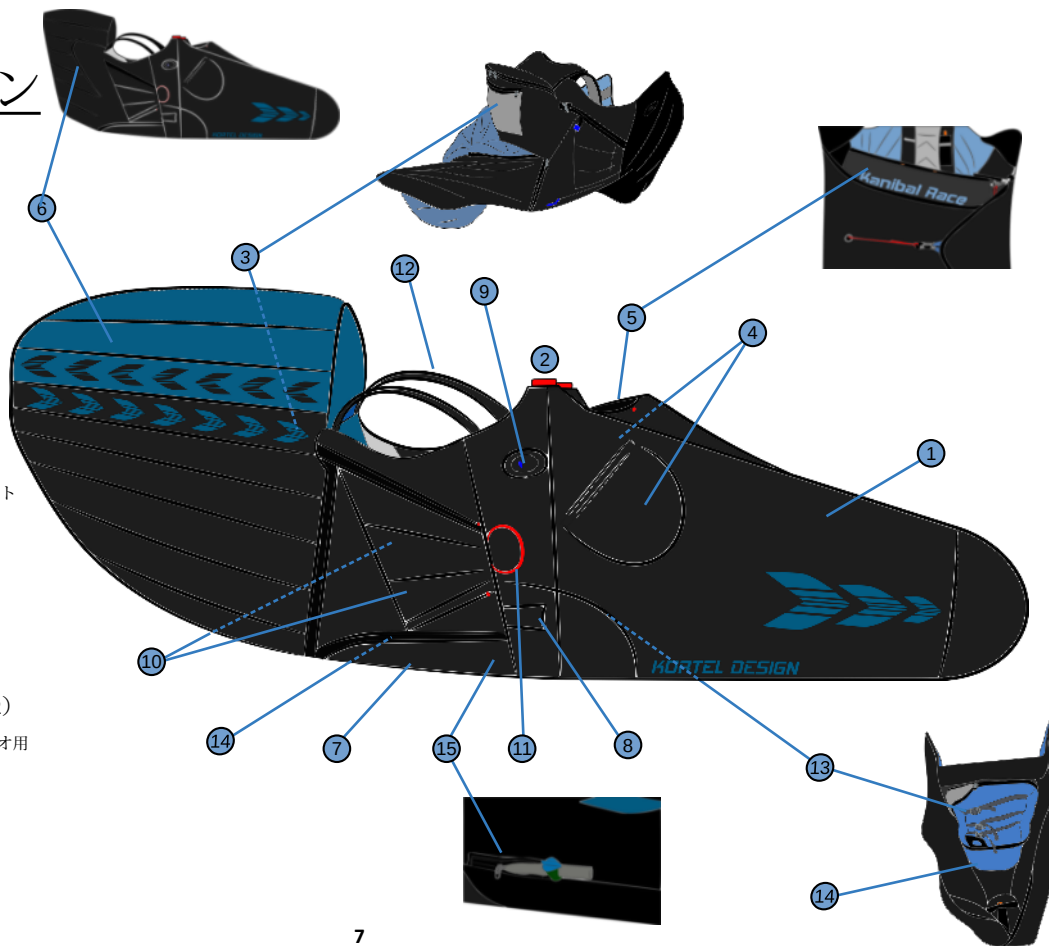


- ① 非常用ライザー2本セットサドル
- ② エマージェンシーハンドル
- ③ ピンロック式カラビナ
- ④ ダイニーマコード
- ⑤ 3バーアクセラレーター
- ⑥ コックピット
- ⑦ エマージェンシーリフト

# プレゼンテーション

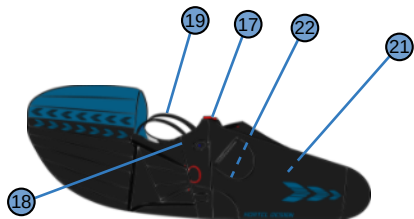
## 全体像

- ① コケーン
- ② 主な注目ポイント
- ③ メインポケット
- ④ サイドポケット (×2)
- ⑤ コックピット
- ⑥ インフレーターブルリアプロファイル ポケット
- ⑦ ドラッグシュート
- ⑧ インフレスケープ (×2)
- ⑨ アクセラレータ通路
- ⑩ 非常用コンテナ (×2)
- ⑪ エマージェンシーハンドル (×2)
- ⑫ ショルダーマジックテープ、ソーラーバリオ用
- ⑬ バラストポケット
- ⑭ 発泡スチロール製バッグ
- ⑮ 排水口

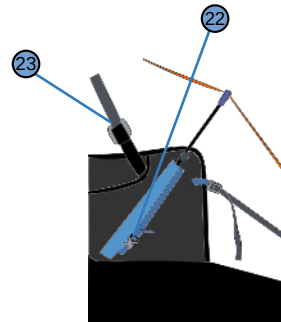
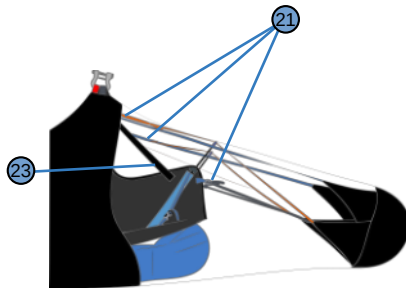
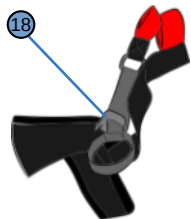
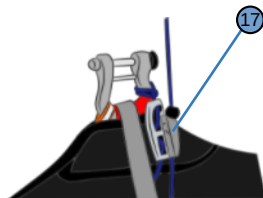
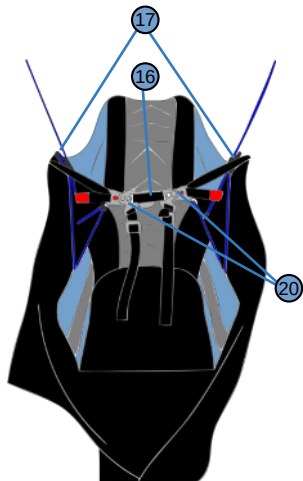


プレゼンテーション

全体像



- ①⑥ 腹部の調整
- ①⑦ ロールダンピング調整
- ①⑧ バックチルト調整
- ①⑨ 肩の長さ調節
- ②⑩ 大腿部ループ
- ②⑪ コクーンの長さ調節
- ②⑫ レッグサポートの調整
- ②⑬ トレイの傾き調整





## ハーネスを準備する 最初のセッティング

最初のフライトの前に、シミュレーターにぶら下がり販売店の方と一緒に最初の調整をすることが必須です。ロールの動きが出せるシミュレータは、各調整の効果を実感するためにプラスとなります。

ハーネスには4つの独立した調整エレメントがあり、最適な快適性と操縦効率を提供することができます。

### ショルダー調整:

テイクオフ前にハーネスの重さを支えます。

空中でパイロットの傾きを制限します。

逆さまにハーネスの外にパイロットが落ちるのを防ぎます。

リザーブパラシュートで吊り下げられたとき、パイロットをサポートします。

ハーネスに入ったり、出たりすることが可能か吊り下げたハーネスでチェックしたのち、ショルダーストラップはサポート性と快適性のために空中で再調整しなければならないことがあります。

空中や離陸時、着陸時に肩の動きが自由にできるように、緊密にコンタクトしておく（ただし、締めすぎない）ことをお勧めします。

### 背面の調整:

背面調整ストラップは、パイロットの背中中の角度を調整するものです。背中中のストラップが後ろにありすぎると、飛行中に不快感を感じたり（視界が悪くなる）、着陸時にハーネスから出るのが難しくなったりします。きつすぎると、離陸後にハーネスを再装着するのが難しくなります。

メインポケットの重量やバラストの重量によっては、ハーネスとパイロットのバランスを取るために、この設定を空中で変更する必要がある場合があります。

### ランバーサポートの調整:

この調整により、パイロットの腰部を完璧にサポートし、長時間のフライトでも最適な快適性を実現します。また、このサポートにより、座っていても横になっていても、ハーネスのエrgonomixを調整することができます。

### 腹部の調整:

チェストストラップの調整により、メインアタッチメントポイント間の距離を設定することができます。メインアタッチメントポイント間の距離は、使用するグライダーのメーカー仕様に準じたものでなければなりません。間違った間隔はグライダーの挙動に直接影響を与えるため、メインアタッチメントポイント間の距離は、使用するグライダーの製造元の仕様に従わなければなりません。間違った間隔は、ハーネスの安定性に直接影響します：締め付けるとハーネスが拘束される傾向があり、緩めるとハーネスがより生き生きとした性格を持つようになります。



セッティングは快適性だけでなく、航空機のハンドリングに直接影響します。離陸前には特に気を配ることが肝要です



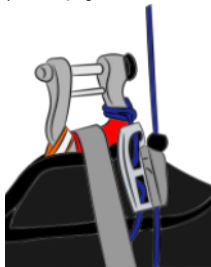
このハーネスで利用できる設定はすべてアクセス可能で、空中で変更することができます

## ハーネスを準備する 最初のセッティング

### コネクター:

ハーネスには、ピンロックカラビナを標準装備しています。このカラビナはウェビングとの接触面積が広いいため、ライザーを理想的に配置でき、ねじれを防止することができます。ピンロックを開けるには、ロックボタンを押し、ボールロックピンのシャフトを引き抜きます。それをライザー端のループに通し、ロックボタンを押したまま、ボールロックピンのシャフトをカチッと音がするまで、もう一度前方に押し出します。

代替カラビナを使用する場合は、慎重に選択することが重要です。その寸法とカラビナの形状は、飛行中に発生する力や張力を最適に分散できるように、ハーネスの主要なサスペンションポイントやパラグライダーのライザーにマッチしていなければなりません。



使用後は必ず、カラビナが正しくロックされていることを確認してください。ボールロックピンが奥まで挿入され、ロックボタンが押し込まれていないことが必要です。疑問がある場合は、ロック作業を繰り返してください。



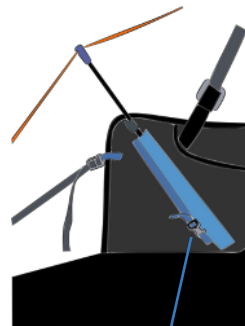
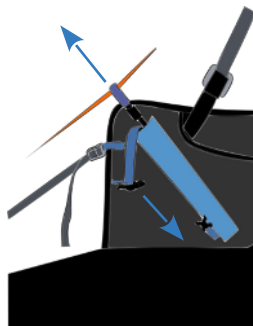
少なくとも2400daNの破断荷重を持つコネクティングリンクの使用を推奨します。フレキシブルリンクは、25mm以上の幅のあるウェビングと組み合わせて使用しないでください。



自動ジクラルに関する現在の知見によるとカラビナは、5年ごとに交換することをおすすめします。500時間使用後

### フォースリダクションシステム:

このシステムは、レッグバッグの中で脚を伸ばした状態を維持するのに必要な労力を顕著に軽減します。システムを調整するには、カーボンロッドを好みの長さまで引き出し、プラスチックバックルでロックします。持ち運びや保管の際には、プラスチック製のバックルを開き、ポールを再び押し込むだけです。前回調整した長さは、プラスチック製バックルで再び素早く設定することができます。

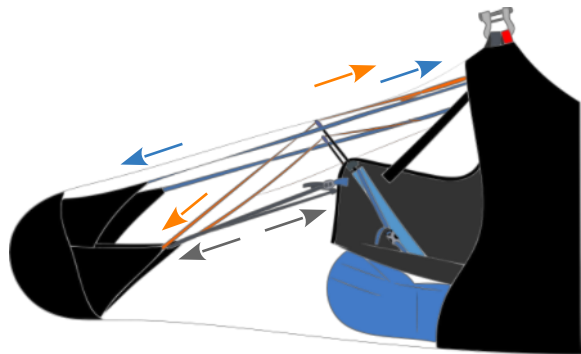


## ハーネスを準備する 最初のセッティング

### コクーン調整：（装着されている場合）

レッグバッグをうまく調整すれば、飛行中に脚を伸ばした状態を無理なくキープできます。調整が短すぎると、抵抗に負けず常に脚を伸ばさなければならず、長すぎると、快適なサポートができなくなります。どちらの場合も、脚を伸ばし続けるために不必要なエネルギーを消費しなければなりません。

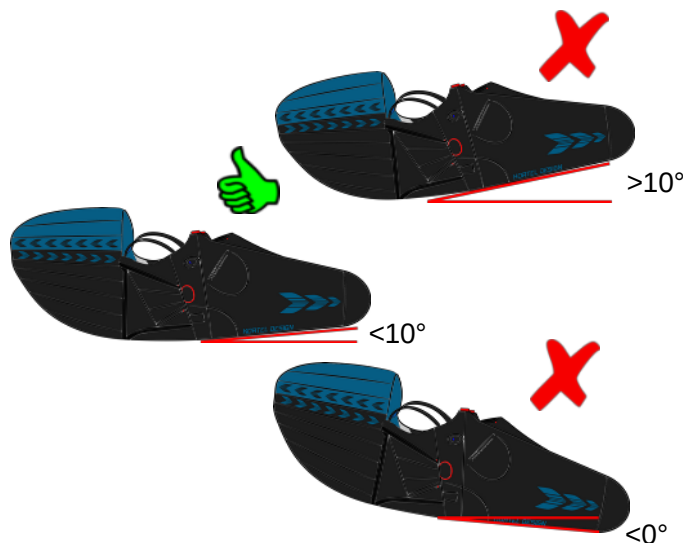
上部と下部にある青い調整ストラップを使えば、上部と下部の長さを別々に調整できます。



コクーンを最適に調整するために、数回のフライトが必要な場合があります。サスペンションのフィーリングは、実際と異なる場合があります。

### コクーンの調整：

冒頭で述べたように、カニバルレースIIはパフォーマンスという一つの大きな目標を念頭に置いて設計されています：そのため、このセクションでは、フライトで最高のパフォーマンスを発揮できるよう、最適な調整方法を説明します。



カニバルレースIIは、サラブレッドの競技馬、クロスカントリーの馬具です。この目的のために、より寝ている状態が最適です。パイロットが直立で座り過ぎるとハーネスの空力的な優位性を十分に発揮することができません。

## ハーネスを準備する 最初のセッティング

### アジャスタブルABSシステム

専用のABSシステムにより、横方向への影響を与えることができます。

ハーネスの横方向の安定性を確保します：

ブルーを緩める

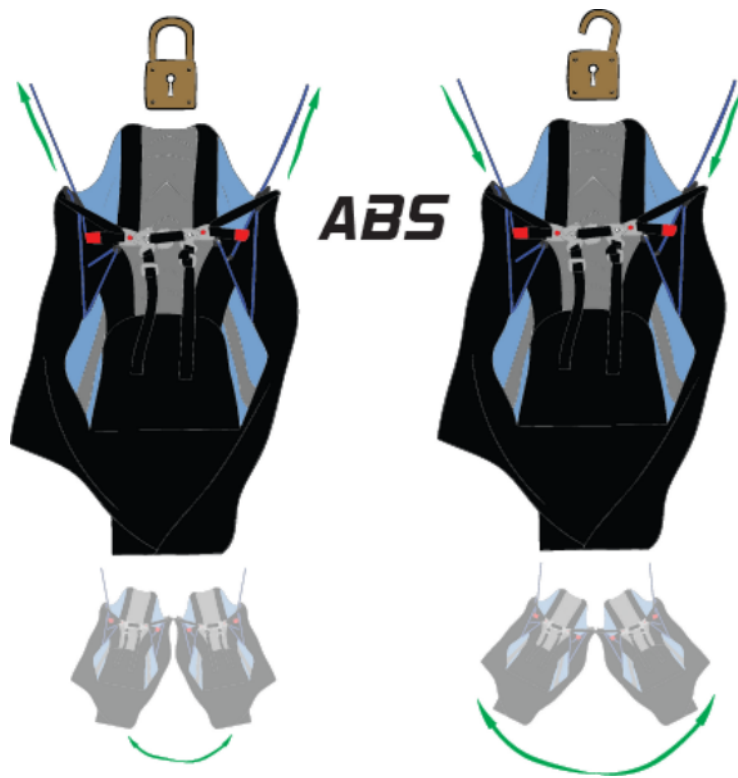
サーマルではアジャイルハーネスを、通常飛行ではハーネスを締め付けることで、より快適な飛行を実現します。

通常のフライトでは、より安定させるために締め付けます。コラムクリートの度合いを精密に調整できるクロージャーシステムです。

飛行条件に応じて安定させることができます。

パラグライダーのライザーに伸縮自在に固定することで、いつでも簡単かつ自由にシステムにアクセスできることを保証します。

ストレートフライトでシステムの締め付け、サーマルでターンを開始するためにシステムを緩めるのです。

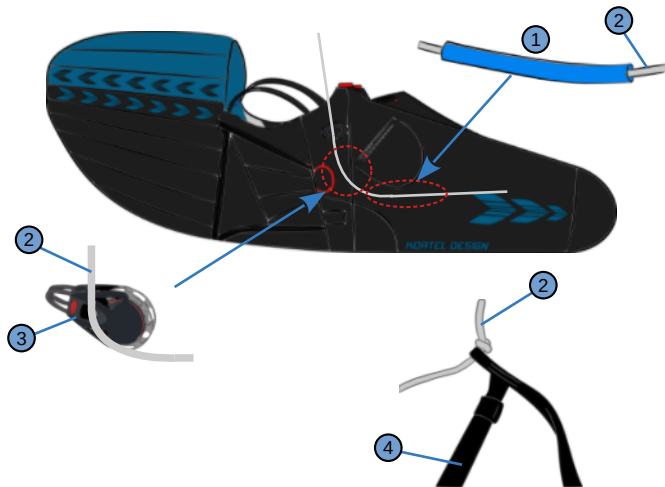


詳しくは [www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com) をご覧ください。

## ハーネスを準備する アクセサリ

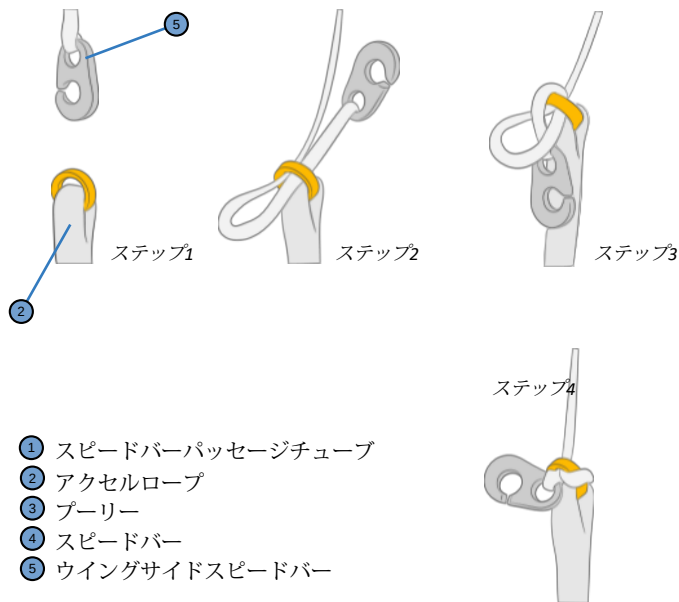
### フットアクセルを装着する：

フットアクセルのロープをハーネス側面のプーリーに通し、ハーネスに取り付けます。  
 ハーネスの両側から、大腿部のロープ溝を通します。  
 太もも部分の結び目で、装着だけでなく長さ調整も行います。  
 ロープはスピードバーの高さで結びます。  
 最適なセッティングでフルに活用することができます。  
 グライダーは2段目のステージがあるときに最大の滑空力を発揮します。



### パラグライダーへの接続

スピードバーをパラグライダーに接続する場合は、次の手順で行います（手順1〜4）。



- ① スピードバーパッセージチューブ
- ② アクセルロープ
- ③ プーリー
- ④ スピードバー
- ⑤ ウイングサイドスピードバー

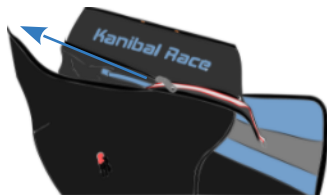


スピードバーを短く設定しすぎないこと。ウイングがパイロットの自発的な操作なしに加速された姿勢になります。

## ハーネスを準備する アクセサリ

### コックピットの装着

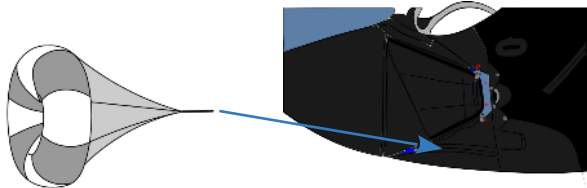
ハーネスには、飛行計器をわかりやすく配置できる大型の計器用コックピットが装備されています。安全に持ち運ぶために、固定用プレートは内側に折りたたむことができます。コックピットは、レッグバッグに簡単にジッパーで取り付けられます。



### ブレーキシュート収納部

ハーネスにはブレーキパラシュート用のコンパートメントがあり、飛行中に右側と左側の両方からアクセスすることができます。

注意：使用するブレーキパラシュートのハンドルの長さをよく確認し、飛行中に容易にハンドルに手が届き、十分に引き出すことができることを確認してください。



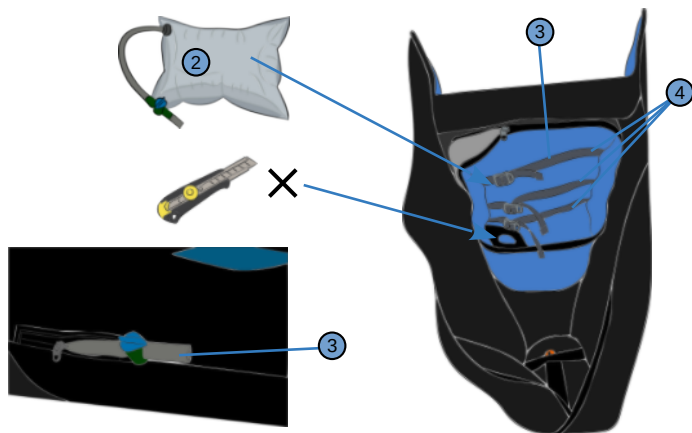
## ハーネスを準備する アクセサリ

### ウォーターバラストバッグの装着:

シート下の前面にポケットがあり、ウォーターバラストバッグを持ち運ぶことができます。タイダウンストラップが装備されており、飛行中にバラストをしっかりと固定することができます。

バッグには、ホースアウトレット用の特別な開口部があります。納品時は閉じたままなので、最初に使用する前に十字にカットする必要があります。

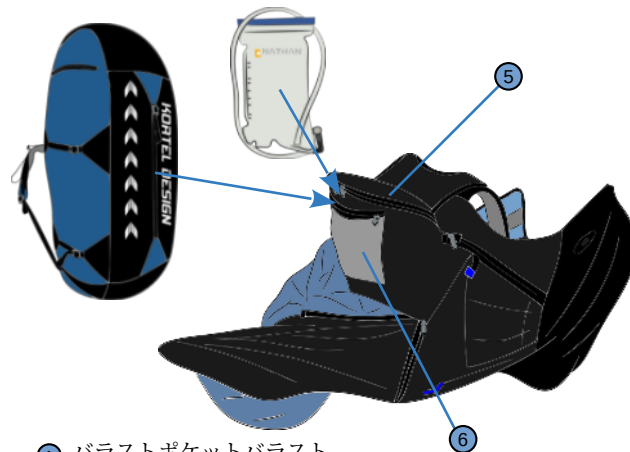
レッグバッグの右側には、すべてのホースアウトレットをハーネスから出すことができる開口部があります。



### 収納のオプション:

ハーネスには、豊富な収納スペースが設けられています。背面には、パラグライダーのバックパックを収納できる大きなメインコンパートメントに加え、ハイドレーションブラダーを収納できる特別なコンパートメントがあります。また、鍵や財布など身の回りのものを入れるための小さなジッパー付きポケットもあります。

レッグバッグの両側には、飛行中もアクセス可能な大きなジッパー付きポケットがあります。



- ① バラストポケットバラスト
- ② バラスト
- ③ ドレンホース
- ④ コンプレッションストラップメイン
- ⑤ ポケット
- ⑥ アクセサリーポケット

## ハーネスを準備する アクセサリー



**警告**



レスキューパラシュートの装着は、資格を持った者によって厳格に実行されなければなりません。それは、ポータルサイトによる初期導入の確認が必須です。

引き出しテストにより、どの要素も干渉しないことを確認します。

このテストは、飛行中と同じようにハーネスに装着し、パイロットによって実施されなければなりません。

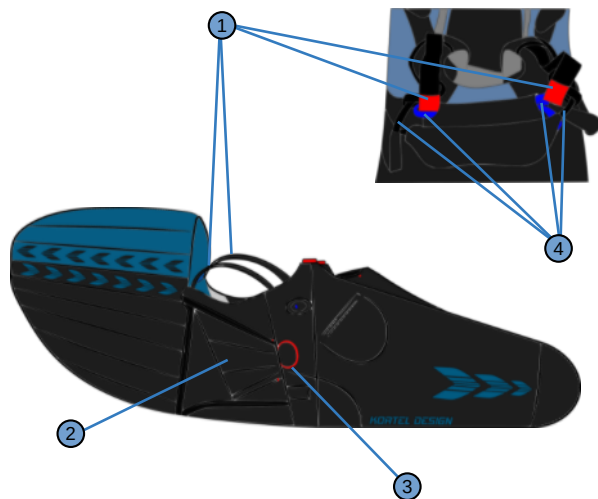
レスキューパラシュートの保守・整備は、メーカーの勧告に従って実施してください。

カニバルレースII/ カニバルレースII STは、以下のものを標準装備しています。

レスキューコンテナ2個を標準装備しており、これは様々なタイプのレスキューパラシュートに適しており、収納部ハーネス後部の左右にあります。

カニバルレースII/ カニバルレースII STには、コンテナからハーネスのショルダーストラップの接続ポイントにラインを導く、レスキュー接続ライン用の特別なチャンネルがあります。このチャンネルは特殊なジッパーで閉じられており、レスキューが展開されると自動的にラインが開き、解放されます。

チャンネルはメインコンパートメントの内側の側面にあり、このような特殊なジッパーで閉じることできます。



- ① ショルダー接続ループ
- ② レスキューコンテナ
- ③ レスキューハンドル
- ④ レスキューライザー



レスキュー機器の完全なインストールを実施することをお勧めします。1年に1回、容器（前面容器または一体型容器）の中に入れてください。年に一度、すべての部品の状態を確認する。部品（コッターピン、ゴム、ベルクロファスナーなど）を使用し、確実に固定します。ファスナー）、水分が浸透していないことを確認してください。



## ハーネスを準備する

レスキューパラシュートの装着について

レスキューライザーとショルダーループの接続には、さまざまな方法で行われます：



« カイトループ »



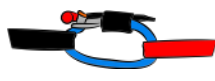
« クイックリンク »



アンカーステッチ結びが正しく行われるのは、次の2つの場合です。  
ループは互いに中心が合っており、手で可能な限り締め付ける。相対的動きがないこと。



« Soft-Link »



« T-Bone Link »



フレキシブルコネクタは、幅25mm以上のストラップには使用しないでください。  
クイックリンクについては、メーカーの推奨事項を参照してください。

コネクタを賢く選ぶことが肝心です。寸法は接続ストラップに合わせた形状にする必要があります。

ハーネスとパラシュートのレスキューライザーに接続し、パラシュートを装着することで、最適な方法で負荷をかけることができます。

また、腹部パラシュートのリザーブライザーは、主要な固定ポイントに接続されています。

メインキャノピーコネクタとは別の接続システムを使用することをお勧めします。



接続に使用する各接続リンクについて

"レスキューランヤード/ハーネス"接続の場合、少なくとも破断荷重は2400daN以上の破壊荷重が必要です。

"バグライダーのライザー/ハーネス"接続に対して、少なくとも1200daN以上が必要です。

一体型コンテナの容積で、レスキューを運ぶことができます。2.6L以上5.3L以下のパラシュートです。

もし最大許容量を超えるパラシュートを装着している場合、正しい展開が保証されません。

ライザー一体型のディレクトレスパラシュートを使用する場合、これらの統合ライザーを直接接続する必要があります。ショルダーの取り付けは、上記のように行うことができます。メーカーの取り付け・使用方法をご参照ください。



より詳細な情報は[www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com) でご覧いただけます

## ハーネスを準備する

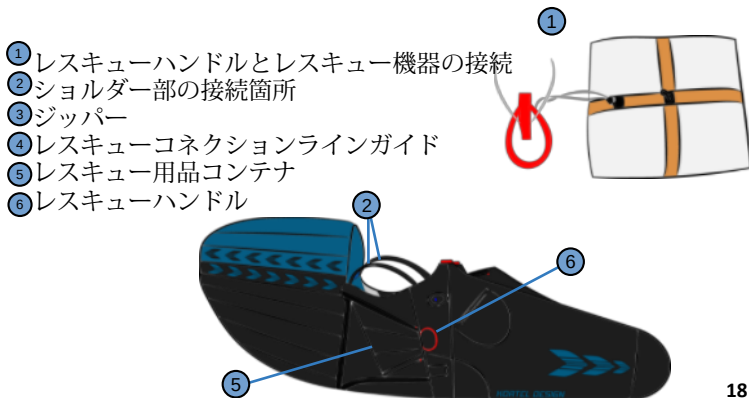
レスキューパラシュートの装着について

レスキューパラシュートは、コンテナに設置する際には、次のようになります：

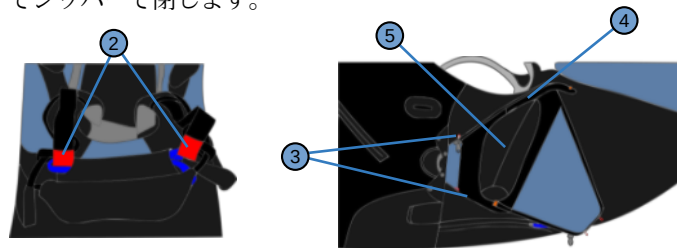
1. 展開ハンドルとレスキューパラシュートをアンカーノットでレスキューパラシュートに接続します

2. 適切な方法でリザーブのブライドルに接続します。レスキューブライドルと共に使用します（85ページ参照）

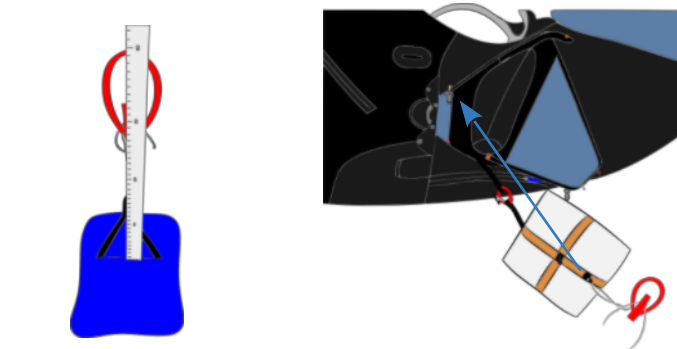
3. レスキューヤーコネクションラインの端を、以下の接続ポイントに接続します。  
ハーネスの肩にある接続ポイントに接続します（85ページ参照）



4. レスキューコネクションラインをラインガイドに挿入してジッパーで閉じます。



5. レスキューパラシュートと余剰ブライドルを外容器に入れる。レスキューを置きます。レスキューパラシュートの展開ハンドルとの接続ができるようにします。シートボードに当て、展開ハンドルにできるだけ近づけます。（図解参照）



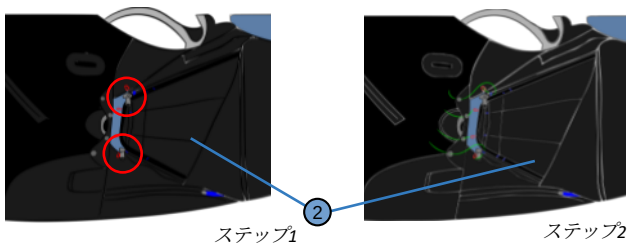
このハーネスに適したレスキューハンドルだけを使用してください。展開ハンドルの全長に注意すること。  
ハンドルと容器の間は40cmを超えないようにしてください。疑問がある場合は、下記までご連絡ください。

[info@korteldesign.com](mailto:info@korteldesign.com)

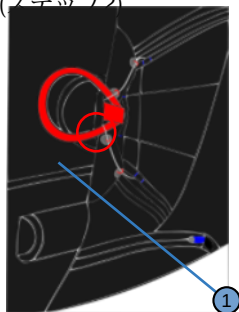
## ハーネスを準備する

レスキューパラシュートの装着について

6. コンテナフラップのジッパーを閉じます。  
(ステップ1)



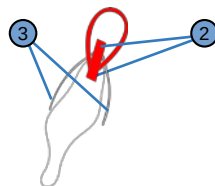
7. オレンジとブルーのループをプラスチックで結びます。  
プラスチック棒やひもを使って、金属のアイレットに通します。  
(ステップ2)



ステップ3

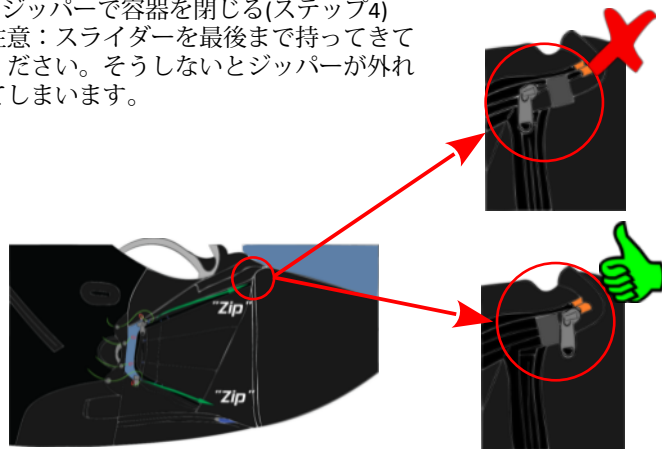
8. リザーブを使って容器をロックします。  
ハンドルクリップを取り付けます。  
(ステップ3)

レスキューハンドルは、必ず前面に押し出し、ピンは必ずハーネスに"押し付ける"ようにします。次に、2つのハンドルタブの端を付属のポケット挿入します。



- ① レスキューハンドル
- ② ハンドルタブ
- ③ スプリットピン
- ④ コンテナフラップ

9. ジッパーで容器を閉じる(ステップ4)  
注意：スライダーを最後まで持ってきてください。そうしないとジッパーが外れてしまいます。



組み立ての最後には、以下のことを念入りにチェックする必要があります。  
ロッドやハンガーなど、組み立てに必要な道具が一切残されていないこと。



詳しくは [www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com) を参照してください

## ハーネスを準備する

### 背面プロテクター

ハーネスには、一体型フォームバックプロテクターが装備されています。

バックプロテクターは、試験基準の要求事項に従って認証されています：

- CE - SP-001 02/2016
- EN - Fpr EN 1651-2018
- LTF - 2nd DV LuftGerPV § 1, No.7C

お届けするプロテクターは、上記のすべてを満たしています。



尖ったものや鋭利なものへの保護材の接触は避けてください。  
保護フィルムにダメージを与える可能性があります。

また、背面プロテクターの機能は、以下のような影響を受けることがあります。

(例)

機械的な摩耗や損傷によって損なわれる  
離陸前や着陸時に地面と頻繁に擦れ合う  
または紫外線の集中的な照射によるもの

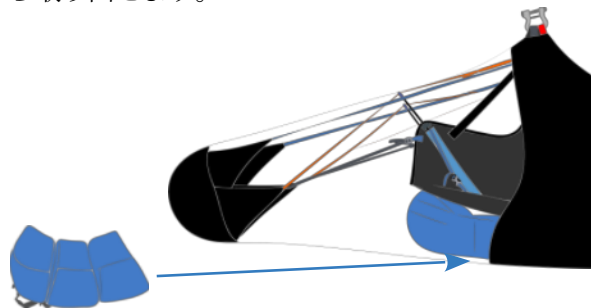


バックプロテクターの状態に疑問がある場合、  
すぐに販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。  
カスタマーサービスにご連絡ください。

### フォームプロテクターの取り付けについて：

ハーネスは、フォームプロテクターを取り付けた状態でお届けします。

必要な場合（旅行時の運搬など）、操縦席下のポケットから取り出せます。



背面プロテクターの改造や間違った使い方をすると、その保護効果を危険なほど損なう可能性があります。  
例えば、フォームのクッション能力は、時間の経過とともに低下したり  
発泡体の制振性能は、経時変化や圧縮保存によって低下することがあります。  
そのため、定期的にバックプロテクターの状態を確認することが重要です。

## 離陸のための準備

### チェックリスト

飛行前点検は、離陸前の最後のステップです。この段階ですべて確認することができるので、おろそかにしてはいけません。

パラメーターが緑色になっていることを確認してから離陸してください！

以下の点をよく確認することが肝要です：

#### 装備の状態：

ハーネスやグライダーに目に見えるダメージがないこと。コネクタの状態や機能を確認します。

#### 背中の保護：

プロテクションの状態は良好で、インフレーションスクープが作動可能であること。  
ファスナーがきちんと閉まっていること。

#### レスキューパラシュート：

毎回離陸する前にフラップや針が所定の位置にあることを確認し、ハンドルがハウジングに正しく取り付けられていることを確認してください。

レスキューを使うには、赤いハンドルを握って引っ張ると、次のようになります。  
コンテナのロックを解除し、レスキューパラシュートの抽出を可能にします。

#### 調整について：

理論的には、あなたの設定は良いのですが、、、。もしかしたら、あなたが持っていたお友達があなたのハーネスを試してみませんか？

というように、設定を元に戻したかどうかを確認することを忘れないでください。

#### スピードバー：

スピードバーの設定が短すぎることで、パラグライダーの永久的な加速につながり、危険な飛行挙動になることがあります。このような場合は、着陸を開始し、設定の修正をお勧めします。

スピードバーを調整したり、スピードバーケーブルを切断したりする。

スピードバーケーブルを空中で切断します（手元にカッターナイフがある場合）。

もしレスキューブライドルが横向きに配線されている場合は、必ずレスキューブライドルの下にフットスピードバーロープが通っていることを確認してください。

特にフットスピードバーの調整は念入りに確認してください。

特にハーネスを貸したことがある人は注意してください。

#### グライダーを準備する：

グライダーは正しく広げ、ラインはよく解いて、離陸を容易にします。

#### グライダーを接続する：

グライダーをハーネスに接続します。

ライザーのねじれを確認し、コネクターが正しく接続されていることを確認します。

#### 気象条件の分析：

気象条件を正しく把握することが、安全な撮影を行うための大きな判断基準となります。

迷ったら、迷わず専門家に相談してください。



飛行前のチェックで安全上の懸念がある場合は、飛行を中止した方がよいでしょう。

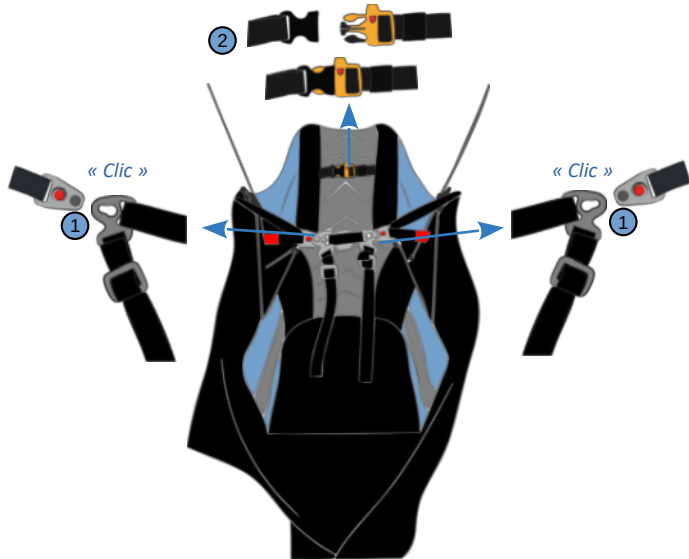
## 離陸のための準備

### ハーネス内の接続

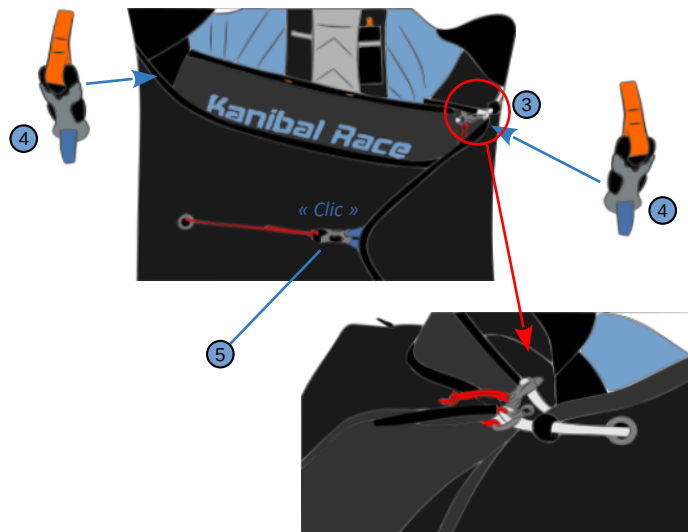
飛行前チェックに成功したら、いよいよハーネスを装着します。

ハーネスを装着する：

- ハーネスに乗り込みます
- 左右の太ももループを閉じます ①
- チェストストラップを締めます ②



- 付け忘れ防止システムでコクーンを閉じる ③
- コックピットのプラスチック製クリップ2個を接続します ④
- コクーンカバークリップ（オレンジ色のコード）を接続する ⑤



付け忘れ防止システムは必要不可欠です。  
ハーネスを装着する際に特に注意する必要があります。



スムーズなテイクオフを実現するために重要なのは、正しいテイクオフの方法と同じです。パイロットの動作は、ハーネスを正しく調整することが重要です。

詳しくは、 [www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com) をご覧ください

## 安全に飛ぶために

### テイクオフについて

テイクオフの段階は、フライトの重要な段階であるため冷静に対処することが大切です。

ハーネスにコクーンが装備されている場合、以下のことをお勧めします。

次のように進めてください：

- チェストストラップに体を預けて、対気速度を上げる
- 離陸後もこの姿勢を保ち、開口部を視覚化する
- 右足はまっすぐにしておく
- 左足のかかとでコクーンをつかみます
- 右脚を完全に引き寄せ、後ろに振り下ろす
- 左脚をたくし上げる

### フライト中

フライト中は状況によって、次のようなハーネスポジションがあります：

サーミングや地形に近いランジションでは、障害物をよりはっきりと見て、下からの情報を観察するために、よりアップライトな姿勢にしましょう。

雲底の近くでのサーミングやランジションでは、空気を感じて、地面を忘れて雲を観察してください。

強い乱気流の中では、アップライトなポジションで、足を自分のほうに向かって引き寄せます。ロールの動きを予測して制御する方法で、大腿の外側でメインストラップに圧力を加えながら、腹部および腰部の筋肉を使用します。

操縦効率を向上させるには、ターンの質に影響を及ぼすハーネスの違った使用方法を探しましょう。肩を回し、腰を振り、足を交差させ、逆ロールを使用してよりフラットな旋回をするなど・・・各パイロットは、操縦効率を向上させるために独自の認識と独自の技術を持っています。好奇心を持って、新しいことを試してください。

### アクセラレータの使用について

スピードバーの使用には、ある程度の力がかかるので、座り心地に影響が出ることがあります。位置が変わってしまいますので、適切な動きをテストすることをお勧めします。

ハーネスを飛行中に使用する前に、テストサスペンションを使用してください。

風が吹いているときにしか飛ばないことを再認識しましょう。

スピードバーを常時使用する必要がありません。

最高速度が出るまで、スピードバーを強く押してください。Aライザーのプーリー同士が接触するまで。

スピードバー使用時は、グライダーの迎角が減少し、そのスピードが上がります。グライダーが安定しなくなり潰れやすくなります。そのため、必ずスピードバーを使用する場合は地上から十分な高度を確保し、障害物や他の航空機から十分な距離を取りましょう。アクセルバー使用時の潰れはより激しく、より迅速な対応が必要な場合が多いです。



パイロットの皆さんは、どのポジションが一番しっくりくるか、自分自身で見つけなければなりません。フライト中に最も快適と感じる姿勢と、その方法について説明します。好奇心を持って、その効果を試してみましょう。

## 安全に飛ぶために

### レスキューパラシュートの使用方法



レスキューパラシュートの展開は、決して些細なことではありません。それはフライトインストラクターの指導のもとで少なくとも一度は行うことを強くお勧めします。

さまざまな理由でレスキューパラシュートを展開する必要があることがあります。レスキューパラシュートを展開させる時は、次のようにしてください：

1. 展開ハンドルの位置を確認し、片手でしっかりと握ります
2. ハンドルをしっかりと引いて、外装のロックピンを解除すると、レスキューパラシュートで内側のコンテナを解放します
3. 内部の容器をハンドルと一緒にできるだけ遠くへ投げます。可能な限り空いたスペースに移動させます。ラインが伸びて、キャノピーの開口部が解放されます
4. 望ましくない効果を避けるために、キャノピーを中立にします：  
BラインまたはCラインをしっかりと引いて、キャノピーを自分の方に引き寄せます。  
場合によってはナイフでライザーの一部または全部を切り落とします
5. 可能であれば、直立姿勢になるように心がけ、そのための準備をする。  
また、ローリング動作で衝撃を和らげる準備をしておきます。  
ローリング運動（パラシュートジャンプの技法）



レスキュー展開ハンドルの位置は、通常時に定期的に確認することが重要です。通常飛行中も定期的にハンドル操作を行うことで、緊急時にハンドル操作を行うことができます。緊急時に備えて、

### 強風の中で着陸する場合：

強風時にはレスキューパラシュートでパイロットを引きずってしまうことがあります。そのため、できるだけ多くのバックルを開けてから使用することをお勧めします。すぐにハーネスから降りられるようにします。緊急時には、ためらわずにクロスカットナイフで解放してください。

### 着水した場合：

レスキューパラシュートの軌跡が水域の上を通る場合（海、湖、川、...）は、接続を解除することをお勧めします。ループをできるだけ多く切断することをお勧めします（胸部、繭、腹部）。

ラインカッターで、水に入る前にそうすることで、以下のことが可能になります。

ハーネスから降りて水に飛び込むことが可能になります。

水に絡まるリスクを抑えることができます。

水中に入ったら、キャノピーやラインからなるべく離してください。

### 植樹の場合：

もし、木の高いところで動けなくなったら、次のことをお勧めします。

救助を待つ間、身の安全を確保してください。

キットは必要な装備も含めて利用できます。

潜在的な落下を防ぎ、救助者の作業を容易にするため（ロープ、カラビナ）です。また、万が一の怪我に備え、救急箱が入ったキットもあります。

一般に、このような場所でクライムダウンを試みることはお勧めしません。



## 安全に飛ぶために

### ランディング

フライトの中で最もデリケートな段階です。  
疲労、脱水、下肢の知覚の喪失、手足、人生で最も美しいフライトの幸福感、すべてです。  
そのため、どうしても警戒心が強くなってしまいます！

今こそ、集中力を高め、環境を分析する時です。  
環境はもちろん、ハーネスを外すことも忘れずに。  
ハーネスを装着して、脚の可動域を確保します！  
コクーンでは、まず最初の足を出しながら踵を内側にすることで、2足目を取り出すことができます。  
足首と膝を固定することで、2番目の足を無理なく動かすことができます。  
フライトが長くて寒かった場合、足首と膝を固定し直すことは贅沢なことではありません。  
膝は贅沢は言えません。  
勾配の影響を足で和らげられるように準備することです。  
バックプロテクションではありません！



## 使用上の制限事項

### タンデム練習

このハーネスは、タンデムパイロットやパッセンジャーとしての使用は想定していません。パイロットまたはパッセンジャーとして使用することはできません。その幾何学的な形状は未確認です。ジオメトリーは、この目的のために設計されたものではありませんし、持ち運びもできません。適切な予備パラシュートを携行することはできません。どのような使い方も個人の自由ですが、事故が発生した場合、メーカーは責任を負いかねます。



### ウインチテイクオフの実践

当社のハーネスはすべてウインチ対応です。特に指定はありません。

ウインチとハーネスを接続するためのループです。

しかし、ハーネスに接続するためのループを追加することはお勧めしません。

ハーネスのアンカレッジポイントに、リリースシステムを取り付ける、接続可能なシステムを推奨します。

ライザーに直接接続してください。の推奨事項を参考にしてください。

[FFVL Empfehlungen](#) (クリックしてください)

### 学校での練習

学校でのトレーニングにこのハーネスを使用することが可能です。たとえそれが主な目的でなくても、学校は、そのようなものです。

### アクロバットの練習

フリースタイルな操縦が可能です、

しかし、このハーネスはこの目的のために設計されたものではないので、次のような用途にはお勧めできません。

ハーネスの構造上の特徴から適さない構造です。

どのような使い方も、個人の自由です。

万が一、事故が発生しても、メーカーは責任を負いかねます。

## メンテナンス・サービス・修理

### 一般的なお手入れ：

少なくとも年に1回は、ハーネスの目視点検をお勧めします。  
少なくとも2年に1回。年に1回の点検が望ましい。  
レスキューパラシュートについては、製造元の推奨事項を参照してください。一般的に、以下のことをお勧めします。  
年に1~2回、空気を入れて畳んでください。  
正常な機能をテストするために、少なくとも年に2回シミュレーター上でレスキューコンテナの取り出し試験を行う。

### リペア修理：

#### 摩耗や縫い目の破損などの問題が発生した場合、または

を示す資料 (sav@korteldesign.com) までご連絡ください。  
ハーネスの型式、製造番号、問題の内容と、その状況、そして数枚の写真を添付してください。

を調査し、原因を究明します。

シリーズの他のハーネス

法律で定められた2年間の保証期間を超えて、弊社が提供するものは純正品であることが証明された修理には、無料で保険をかけることができます。

製造または設計上の欠陥。

### リビジョン：

ハーネスの経年変化によるインシデントがない場合でも、ハーネスのメインウェビング、バックプロテクション、縫製が満足できる状態にあることを確認することが重要です。UV、湿度、および摩耗は、ハーネスに使用されている材料の特性を変える可能性があります。ほとんどありませんが、欠陥のある部品によって、ハーネスが早く劣化することがあります。ハーネスは、使用状況に応じて2年ごとに目視によるチェックをお勧めします。特に木や岩に着陸した場合、さらにはレスキューサービスの介入があった場合は、小売店に連絡してください。担当者が有能な専門家を紹介します。

[sav@korteldesign.com](mailto:sav@korteldesign.com).



徹底した目視点検をお勧めします。  
少なくとも2年に1度、ハーネスを交換する。  
少なくとも2年に1回は、また年チェックが望ましい。



## メンテナンス・サービス・修理

### ストレージ：

理想は、光の当たらない、乾燥した温和な場所を選ぶことです。光を避けてください。バックプロテクターを圧迫しないようにします。

ハーネスの発泡スチロールを含む部分を曲げないように注意してください。

フォームやプレートなどです。

### 洗濯：

きれいな水とマイルドな石鹼でハーネスを洗うことができます。次に、湿気の少ない乾燥した場所で乾燥させてください。乾燥機を使用しないでください、そして洗う際には水温30℃を超えないようにしてください。慎重にすぎず、直接日光に当てることは避け、風通しの良い場所で乾燥させましょう。

### 環境に配慮した廃棄物処理：

最後に環境に配慮した廃棄をお願いします。

異なる素材（布、プラスチック、金属など）を分別し、そのカテゴリーに応じてリサイクルすることをお勧めします。コルテルデザインに製品をご返却いただければ、適切な処分を承ります。



**Contrôle / Inspection**  
**2 ans / years**

## 注意事項

- このハーネスには、Fpr EN 1651-2018 & LTF 2の認証を受けたバックプロテクターが搭載されています：
- DV LuftGerPV § 1, No.7c、レスキューパラシュートを含むハーネスの速度での衝撃に対応。5m/s
  - CRITT SLのプロトコルSP-001 02/2016について
  - バックプロテクターは、その他の衝撃シナリオのテストは行っていません。
  - 規則 (EU) 216-425 (EU適合宣言は、[www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com) で入手できます。)

### 注意事項

- プロテクターは怪我を完全に防止するものではありません。脊椎損傷を除く。
- 衝撃から保護されるのは、プロテクターで覆われた部分のみです。
- 改造や不適切な使用は、バックプロテクターの保護効果を危険なまでに低下させます。
- 取り外し可能なプロテクターの場合、プロテクターが装着されているときのみ保護が保証されます。
- ハーネスの耐用年数は最大10年です。激しい衝撃を受けた後は、ハーネスが正しく機能するかどうか確認する必要があります。疑問がある場合は、遠慮なくメーカーに連絡してください。
- ハーネスは、-20℃以下または40℃以上の環境では使用しないでください。

通知された機関：

**ALIENOR CERTIFICATION n°2754**  
Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein - 86100 Châtellerault - France  
+33(0)5.49.85.38.30 - [www.critt-sl.com](http://www.critt-sl.com) - #0501



## ギャランティー

当社のハーネスには、2年間の保証期間が適用されます。  
万が一、不具合に気づかれた場合は、弊社カスタマーサービス  
までご連絡ください。

カスタマーサービス  
(sav@korteldesign.com)、問題の内容を説明し、可能であれば写  
真を添付してください。私たちは迅速に確認し、お知らせしま  
す。

次のステップをお知らせします。

無償修理は保証期間内に限らせていただきます。  
以下の場合のみ、無償で修理を行います。  
製造または設計上の欠陥の証拠が存在する場合。



## テクニカルデータ

	S	M	L	XL
Gewicht (kg)	6.8	7.1	7.4	7.7
Gewicht Cockpit (kg)	0.4			
Gesamtgewicht (kg)	7.2	7.5	7.8	8.1
Zertifizierung	CE / EN 1651 / 1249			
Max. Startgewicht (kg)	120			

注) カニバルレースII STは、各サイズとも約150gの軽量化を実現しています。

### 使用材料：

#### ファブリック：

210 D Dobby Nylon, 500D Kodra Polyester, 70 D Rip stop,  
Neoprene 1.5 mm

#### テープ・ロープ：

25 mm Dyneema/Polyester ( BL 1200 daN); Nylon 10, 15, 20  
mm; spectra 2mm

#### クロージャー要素：

Kortel : LFR 16/8, et 10/3 , tip Nitinol 1.8 mm  
Finsterwalder : Buckle 25mm / Carabiners Pin-lock  
Duraflex : Plastic Buckle  
Ronstan : Speedbar pulley YKK : Zipper  
Péguet : Quick links  
Triplex : Seat board ans slats



## サイズガイド情報

自分の体格に合ったハーネスサイズを選ぶことは、次のような場合に重要です。

- ハーネスの機能を最大限に生かすために
- 可能な限り最高の快適性を実現する
- ハーネスと完璧なユニットを形成し、パラグライダーを最良の方法でコントロールできるようにする

	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200
50	S	S	S								
55	S	S	S	S							
60	S	S	S	S	S						
65	S	S	S	S	M	M					
70	S	S	S	M	M	M	M				
75		S	M	M	M	M	M	L			
80		M	M	M	M	M	M	L	L		
85			M	M	M	M	L	L	L	L	
90				M	M	L	L	L	L	L	XL
95					L	L	L	L	L	XL	XL
100						L	L	L	XL	XL	XL
105							L	XL	XL	XL	XL
110								XL	XL	XL	XL



この表は、あなたの「身長・体重」の組み合わせによってハーネスの基本サイズを決定することができます。ただし、テストフライトも可能な販売店からアドバイスを受けることができます。  
([www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com))



## その他の情報

当社のウェブサイトでは、写真や説明ビデオなどの追加情報を掲載しています。  
ご不明な点がございましたら、ホームページをご覧くださいか、下記までお問い合わせください：

**Kortel Design**  
**1096 Avenue André Lasquin - 74700 Sallanches - FRANCE**  
**Tel +33 (0)9 50 10 73 27 - [info@ korteldesign.com](mailto:info@korteldesign.com) - [www.korteldesign.com](http://www.korteldesign.com)**

# *Carnet d'entretien / Service book*



<i>Date</i>	<i>Signature</i>	<i>Remarques / Notes</i>
_ _ / _ _ / _ _ _ _		
_ _ / _ _ / _ _ _ _		
_ _ / _ _ / _ _ _ _		
_ _ / _ _ / _ _ _ _		

*N° série / Serial Numb.* \_\_\_\_\_ *Taille / Size* \_\_\_\_\_

素晴らしいフライトを！！





***KORTEL***  
***DESIGN***